

第23回全道高等学校新人大会

大会展望

2月4日から6日にかけて、男子32・女子32の計64チームによる厳寒の旭川を舞台に熱戦が繰り広げられる。メイン会場は旭川市総合体育館。

男子はシード権をもつ4校を中心とした争いになりそう。注目は第1シードの札幌月寒であろう。傑出した選手が数多くいるわけではないが、チームとしての戦い方に長けており、激戦の札幌地区予選を制したチーム力は非常に魅力である。その武器を最大限に生かして初の全道制覇を狙う。初戦は実力校である函大有斗との対戦である。同じブロックの注目校は旭川工業。その試合巧者ぶりを発揮して大物食いがまた見られるかもしれない。第2シードの恵庭南は順当に行けば2回戦北海道栄、3回戦は今大会の台風の目になりそうな札幌日大と厳しい戦いが続き、波乱含みのブロックになりそうだ。第3シードの旭川大学は安定した力を持っており、今大会でも上位進出を狙う。初戦の札幌工業戦は1回戦の中でも好カードであろう。第4シード東海大四は順当に行けば帯広白樺学園とベスト4をかけて戦うことになりそう。どちらにしても優勝本命のチームはなく、混戦が予想される。

女子は3冠を達成した札幌山の手の新チームがどのような戦いをするのかに注目が集まる。それを追うのは北星女子。札幌地区予選で久々の準優勝となり今大会は第2シード。決勝まで進み、王者山の手との対戦に臨みたいところ。第3シードである帯広南商は先の選抜で涙の全国大会出場を果たし、新チームにも期待がかかる。同ブロックにはシード返り咲きを狙う旭川藤がおり、藤高校会場でベスト4をかけての対戦が予想され、地元の応援を受け旭川藤がどのような戦いをするか注目したい。第4シードの室蘭海星学院は順当に行けば2回戦で今大会ノーシードの札幌創成との対戦になるであろう。札幌地区予選3位に甘んじた札幌創成にも意地があり、2回戦屈指の好カードである。また、とわの森三愛にも力があり、どのチームがベスト4進出を果たすか予想がつかない状況である。山の手の活躍で大いに盛り上がっている高校女子バスケット界、レベルの高い戦いになることを期待したい。

平成23年1月22日